

103-187

問題文

じん麻疹及び薬疹に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。

1. じん麻疹は、主に血管透過性亢進により生じる。
2. じん麻疹の症状の1つに、血管性浮腫がある。
3. じん麻疹の多くは、そう痒感を伴わない。
4. 中毒性表皮壊死症の早期に発熱はみられない。
5. Stevens-Johnson症候群の治療には、副腎皮質ステロイド薬の局所投与を行う。

解答

1, 2

解説

選択肢 1,2 は、正しい記述です。

血管付近の肥満細胞が 何らかの原因でヒスタミン放出 →ヒスタミンが神経を直接刺激し かゆみを感じる。

また、ヒスタミンの作用により 血管拡張し「血管透過性更新」 →血管外へ血漿成分が流出 →「浮腫」という流れです。

選択肢 3 ですが

さきほどの解説のとおり、肥満細胞から放出される ヒスタミンによる神経の直接刺激により そう痒（よう）感を伴います。 よって、選択肢 3 は誤りです。

選択肢 4 ですが

中毒性表皮壊死症（T.E.N : Toxic epidermal necrolysis）は、高熱や全身倦怠感等を伴う 全身性の疾患です。「早期に発熱が見られない」は 明らかに誤りと考えられます。 よって、選択肢 4 は誤りです。

選択肢 5 ですが

原因薬物中止、熱傷の治療の後 ステロイド「内服」が行われます。 局所投与ではありません。 よって、選択肢 5 は誤りです。

以上より、正解は 1,2 です。